

## 活動報告

■活動日時：2025年9月6日（土） 09：30～12：00

■プログラム名：カブトムシの森 勉強会

■目的：「クヌギ人工林の管理」について深く学ぶ。

萌芽したクヌギなどを今後どう管理していくのがよいか考える。

■活動場所：カブトムシの森 野の花ゾーン、せせらぎゾーン、こもれびゾーン

■参加者：講師 1名、センター 1名、会員 19名 計21名

■活動概要：玉泉幸一郎先生から「クヌギ萌芽林の特性と管理」についてのお話。

カブ森へ移動して現地を見ながら質疑応答

### 【活動ノート】

9月6日はカブ森の現状を確認しながら、今後の管理方法について、専門家をお招きして考えました。

最初の座学はクヌギについて。先生は以前クヌギ林の研究をされていたとのことで、普段考える機会の殆どない萌芽の生理や、萌芽更新の勘所などをお聞きすることが出来て好評でした。

作業についても貴重なアドバイスをいくつも頂きました。例えば・・・

クヌギの伐採はできるだけ低い位置で行い、根際で萌芽を発生させる。

伐採面を少し斜めにすると、水が溜まらないので腐敗が防げる。

整備方針でクヌギ、コナラの萌芽林を目指すとうたっているが、各地区の整備目標に萌芽林に向わせる方策が抜けている。

萌芽のみられない場所には苗の植栽が必要と思われる。

この後は舞台をカブ森に移して、現地で森の状況を見ながら意見交換をしました。

時間は1時間程と短かったのですが、皆さん日頃疑問に思っていたことや、気になっていたことなどを熱心に伺っていました。

今後の活動にどう生かされていくか、これからが正念場です。



【クヌギ人工林の管理 初めて聞く話も多かった有意義な講義でした】



【高校生も熱心に聞いていました】



【カブ森の管理をみんなで考えました】